

台風第 19 号に伴う被災状況について

1 JR 東日本・西日本：北陸新幹線

○10/13（日）未明

- ・長野市穂保地区の千曲川堤防決壊に伴い、赤沼地区の長野新幹線車両センターが水没
- ・全車両の 3 分の 1 にあたる 10 編成 120 両が浸水被害

○10/25（金）

- ・被災前の 9 割程度のダイヤ数で、東京・金沢間の全線運行が再開

○11/7（木）

- ・水没した 10 編成 120 両の全車両の廃車が決定



2 しなの鉄道（しなの鉄道線、北しなの線）

○10/13（日）

- ・東御市内の千曲川右岸護岸の崩落、市道の「海野宿橋」の落橋

○10/14（月）

- ・軽井沢・小諸間が運行再開

○10/15（火）

- ・上田・篠ノ井・長野間、軽井沢・田中間が運行再開

○10/18（金）

- ・北しなの線運行再開（豊野変電所や線路が水没したが、JR 東日本の電源代替等により再開）

○10/23（水）

- ・田中駅・上田駅間の学生対象の救済手段として、新幹線及びバスによる代替輸送を開始

○11/15（金）

- ・田中駅・上田駅間が運行再開



※代替輸送コストについて、国が新たな財政支援方針を表明したが、詳細は未定（赤字事業者 1/3、黒字事業者 1/4、半年間分、自治体補助分は特別交付税措置）

3 上田電鉄・別所線

(1) 経過

○10/13 (日)

- ・ 8 時頃、千曲川堤防の崩落に伴い、別所線橋梁が落下

○10/15 (火)

- ・ 電車運行再開 (別所温泉駅・下之郷駅)、及び代行バス (下之郷駅・上田駅) の運行開始

○11/16 (土)

- ・ 下之郷駅・城下駅間の電車運行再開、城下駅・上田駅間は代行バス

※代行バス…鉄道の代行として、鉄道駅間で停車し、鉄道運賃を徴収する形での運行



(2) 国への要望、協議状況、視察対応

○10/16 (水) 第1回「鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する地方連絡調整会議 (北陸ブロック)」開催

○10/20 (日) 安倍首相が長野県内視察、阿部知事から緊急要請書

○10/20 (日) 国土交通省・水嶋鉄道局長が長野県内視察

○10/29 (火) 北陸信越運輸局、北陸地方整備局への経過報告

○10/30 (水) 御法川・国土交通副大臣 (水嶋鉄道局長、五道水管理・国土保全局長) への要望書提出

○11/01 (金) 北陸信越運輸局 (板崎局長、金澤鉄道部長) が長野県内視察

○11/04 (月) 赤羽・国土交通大臣が長野県内視察、阿部知事・関係首長との意見交換

○11/20 (水) 国土交通委員会の長野県内視察

(3) 国への要望事項

- ①地域住民の生命・財産を守るための千曲川堤防の早期本復旧
- ②鉄道、河川の地方関係機関の事業間調整による、橋梁の原形復旧、早期復旧
- ③橋梁復旧にかかる国庫補助金の嵩上げ
- ④代行バス費用の財政支援

4 路線バス等への影響

- ・ 道路、橋梁の被災に伴う通行規制により、路線バス等の運休、迂回運行が相次ぐ
- ・ 以下の路線は、現在も運休・迂回運行を継続 ※ () 内は休止のバス停

- ①菅平高原線、渋沢線 (真田、横沢、湯の平)、②傍陽線 (大倉)
- ③鹿教湯線 (丸子総合体育館前)、④武石線 (下小寺尾、中居、上小寺尾)
- ⑤信州の鎌倉シャトルバス (11 月末まで運休)
- ⑥オレンジバス (諏訪形)、⑦まりんこ号 (深山、深山向井入口)